

# やまがた 労福協 NEWS 新年号 No.27

発行所／一般社団法人 山形県労働者福祉協議会 〒990-0044 山形市木の実町12-37

TEL 023-641-6503 FAX 023-641-6830 URL <http://yamagata.rofuku.net/> 2017.1.1



## 「共助と連帯」による 労福協活動を推進しよう！

一般社団法人山形県労働者福祉協議会 理事長 岡田新一

謹  
賀  
新  
年

新年おめでとうございます。

県労福協は、昨年記念すべき結成40周年となり、今年は新たなスタートの年となりました。さて、今日的で特徴的な情勢と課題について、(1)一つは、少子高齢を伴う急速な人口減少社会のなかにあって、「安心・安全・信頼」の「持続可能な社会」をどう作っていくのか。(2)二つは、県内企業は9割以上が中小零細企業という状況のなかで、働く者の賃金・労働条件改善に向けて、中小企業の活性化や地域の活性化をどう図るか。(3)三つは、正規労働者と非正規労働者の格差問題をはじめ、大都市圏と地方の格差拡大や貧困層の増大などあらゆる「格差と貧困問題」に対する取り組みであります。

県労福協としては、一昨年から、「給付型奨学金制度の導入と教育費負担の軽減」を求める取り組みを行っています。大学の学費高騰と家計収入の減少により、今や大学生の2人に1人が何らかの「奨学金」を利用し、不安定雇用や低賃金労働の拡大により、卒業しても返済に苦しみ、返済できない人たちが増加しています。

こうした状況が続ければ、貧困の連鎖にとどまらず、「中間層」も結婚・出産・子育てが困難となり、少子化や人口減少を加速することとなります。

未来を担う若者を全体で支え「持続可能な社会」にするために、給付型奨学金制度の創設と教育費負担軽減の取り組みは重要です。

今、まさに、「共助と連帯」に基づく労福協運動は益々重要になっていきます。

今年も、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

## 謹んで新春のお慶びを申し上げます

監 事	理 事	専務 理事	副 理事 長	理 事 長
金	柏	梅	山	館
田	木	津	口	内
宏	庸		友	間
治	実	成	清	悟
			廣	秀
			久	和
			和	司
			志	志
			正	正
			弘	弘
			啓	啓
			男	一



# 新年のあいさつ

(加盟団体・地区労福協・顧問)



連合山形  
事務局長 設 樂 正

新年あけましておめでとうございます。昨年は、参議院議員選挙で推薦候補「舟山やすえ」さんに対する各構成組織の役職員・組合員の絶大な支援により勝利を得ることができました。あらためて御礼申し上げます。

選挙後の臨時国会は自民・公明両党の圧倒的多数を背景に、国会を軽視し国民をかえりみない政権運営がさらに顕著になりました。また、安倍政権は「働き方改革」の関連法案成立に全力を擧げる構えですが、労使の利害が複雑に絡む課題だけに、極めて慎重な対応が必要であります。

今求められているのは、与野党が緊張感をもって切磋琢磨しあう政治です。連合山形は引き続き、政権交代可能な二大政党的体制を追求し、働く者のための政策の実現に向けて取り組んでいきます。そして、底上げ・底支え、格差是正を図ることに重点を置いた「2017春闘」は、勤労者の生活の安定、待遇改善に力を結集し全力で闘ってまいります。

本年も多くの課題が山積していますが、一体感・連携を大事にしながら活動を進めて参りますので、皆さまのご支援をお願いいたします。

全労済山形県本部  
本部長 熊 澤 年 啓

新年明けましておめでとうございます。  
ご家族共々輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2016年も数々のイベントの催しを通して、皆様とのふれあいや助け合いの輪を広げることが出来ました。誠にありがとうございます。

私たち全労済の継承すべきDNAは、『お役立ち』という言葉に集約されるのではないでしょうか？2017年も全労済は、『もっとお役に立つには、どうしたら良いのか？何が出来るのか？』を追求してまいります。そして、今年、創立60周年を迎えるにあたり、『事業の回復』と『常に健全な事業基盤の確立』の実現をおこなうと共に、組合員の皆様から「共感・信頼・参加」をより得られる様に積極果敢に取り組む決意であります。

今年も変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



東北労働金庫山形県本部  
本部長 大 泉 敏 男

新年おめでとうございます。  
ろうきんは、戦後まもなくして、物資不足や低賃金、賃金遅配、解雇などで生活に困っている仲間を助けようという、あたたかな絆から生まれた「会員協同組織の福祉金融機関」です。昨年は非正規労働者の拡大や奨学金問題に対応するため、福祉金融機関としてのサービスの充実に努めてまいりました。

日銀のマイナス金利政策や他行の攻勢等厳しい状況が続きますが、今こそ、ろうきんは原点に立ち返り、これまで以上に働くすべての方々のライフプランを「安心・安全」に支えるため、役職員一丸となって役割を發揮してまいりたいと考えております。

本年もより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸をご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



山形県生活協同組合連合会  
会長理事 菅 井 道 也

2017年、あけましておめでとうございます。  
丁酉（ひのとり）の年です。「丁」はのびざかりを表します。今年は、沖縄米軍基地・安保法制、年金カット・消費増税といった情勢を踏まえ、「平和」と「格差縮小」を求める声が大きくなっていくはずです。

「酉」は実が熟した状態です。働く人たちの不満が頂点に達する中で、協議・討論が終わり、選挙で答えを出す年になりそうです。

県生協連は、組合員と地域に寄り添いながら、事業と活動を通じてくらしの向上に取り組み、平和で豊かに生きられる社会をめざしていきます。

本年が皆様にとって良い年になることをご祈念申し上げます。  
本年もよろしくお願いいたします。



(一社)山形県勤労者福祉センター  
理事 館 内 悟

新年あけましておめでとうございます。旧年中は労働者福祉協議会に集う皆様より、勤労者福祉センター（大手門パルズ）の様々なイベントや会議・宴会などの利用拡大にご協力いただき、感謝と御礼を申し上げます。大手門パルズは開館10周年となり、厳しい経営環境を克服すべく「今日から明日へ、これからも皆様とともに」をキャッチフレーズとして、本年も経営諸施策への取り組みや、一般社団法人として勤労者及び県民のための福祉活動の推進、地域社会の発展のための地域貢献活動に努めてまいります。そして、10周年記念事業を展開しながら「低廉な料金で、利用しやすい大手門パルズ」をめざし、職員一同、良質なサービスを心がけていく所存であります。

2017年が皆様にとって素晴らしい年となることをご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



(一社) 山形県経済社会研究所  
所長 立 松 潔

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。山形県経済社会研究所（連合山形総研）への日頃からのご支援に心から感謝申し上げます。

人口減・高齢化社会が進む中で、地域創生・一億総活躍社会の構築が唱えられていますが、地方社会ではその果実が感じられず、むしろ地域・子ども・労働者間の格差・貧困が顕在化してきています。こうした状況を好転させ、適切な労働運動や政治活動につなげるための経済動向の把握、地域から見た雇用の在り方や女性を含めた働く者の労働環境問題、教育問題、農業問題などの提起等、地域に着目した研究を行う機関として、本年もしっかりととした理論的支えとしての役割を認識し活動をして参る所存です。

特に本年は、政府・与党が「働き方改革」の実現のために動き始めるとされています。真に労働者にとって適切な働き方改革であるのか、様々な動きをつぶさに分析・評価し、働く者の生活の安定・改善に資する提言をすることは極めて重要であり必要なことです。諸政策の在り方を常に探し、あるべき姿を追求し続ける研究機関であることをお誓いしながら、皆様にとって、すばらしい一年になりますこと心からご祈念申し上げ、新春の挨拶といたします。



田川地区労働者福祉協議会  
会長 工 藤 博

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

田川地区労働者福祉協議会は構成団体の連帯を中心に、①労金・全労済・生協など福祉事業の充実、②労働者体育祭やクリーン作戦など労働者全体の連帯、③弁護士・司法書士による無料相談の定期開催、など労働者の生活向上に取り組んできました。

設立8年目を迎え、自治体や関係団体のご理解ご協力のもと、地域に暮らす労働者と家族が安心して暮らしていける社会を目指して活動していきますので、皆様方の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



(公財) 山形県勤労者育成教育基金協会  
事務局長 山 口 清

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。昨年中は当協会の活動に対しまして、ご支援、ご協力を賜り、心から感謝し厚く御礼申し上げます。

当協会は山形県はじめ県内全市町村の絶大なるご支援を得るとともに、連合山形、労福協、県内の労働者福祉事業団体および労働金庫が一体となり、1993年（平成5年）11月1日に設立し今年24年目を迎えます。当協会は、2012年（平成24年）4月1日に公益法人の認定を受け、また2013年（平成25年）4月1日に事業所登録を行い、さらに2015年（平成27年）4月1日から定款の変更を行い公益事業を追加し事業展開を行っております。

おかげさまで当協会の事業の柱である利子補給事業では、利子補給認定者が2,847名（2016年9月末現在）となり、利子補給金交付累計は、3億4,543万円余となりました。今日の厳しい経済環境により家計に占める教育費の経済的負担は増すばかりであり、当協会で行っている利子補給事業に対する期待は一層高まっているものと考えます。

あすの山形を担う若者の県内定着と地域活性化に向け、なお一層努力してまいります。本年が良い年でありますようご祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。



飽海地区労働者福祉協議会  
会長 北川 幸 宏

新年明けましておめでとうございます。日頃の労働者福祉活動へのご理解とご協力に心から御礼申し上げます。皆様方におかれましては、御家族共々健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今期より飽海地区労働者福祉協議会の会長を仰せつかりました。どうぞよろしくお願ひいたします。また、旧年中までの会員の皆様、諸団体の皆様からは労福協の運営に対しまして御尽力をいただきました。この場を借りて御礼を申し上げます。

労福協運動は【労働者・生活者の福祉と幸福の向上】の為に公助・共助・自助を希求し共に前進をして来ました。これからもその役割を果たしながら、時代の潮流や地域労働者のニーズをしっかりと捉え活動を推進してまいります。今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。本年が皆様にとってより良い年となるようお祈り申し上げます。



最上地区労働者福祉協議会  
会長 矢 口 昌 博

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は地区労福協活動に対しまして、特段のご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

地区労福協では、ゴルフコンペや芋煮会の開催等会員間の親睦を深めてきた他、クリーン作戦を通じた地域ボランティア活動、さらには、6年ぶりに開催した労働者無料法律相談会等、地域労働者およびその家族の生活向上と福祉・福利厚生の充実に向けて取り組んで参りました。

今後とも、地域労働者が安心して生活ができる将来に希望が持てる社会の実現に向け、地域に根ざした運動を展開して参りますので、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



北村山地区労働者福祉協議会  
会長 高橋 正昭



西村山地区労働者福祉協議会  
会長 金子冬樹

新年明けましておめでとうございます。  
日頃より北村山地区労福協活動へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。  
地区的独自の活動として、年末のボランティア活動があります。老人施設を中心にガラス拭きなどの軽作業ですが、毎年行っております。

今年は、多くの参加者で大変賑やかな活動になりました。  
私たちは「安心社会」を目指しております。地域の人に触れながら、共助や協働の在り方について学んでいきたいと考えております。

これからも、地域に根ざした活動を求めて努力して行きたい  
と思いますので、皆様方のご支援・ご協力を、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。  
皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
また、日頃の当地区労福協活動へのご理解、ご協力に心より御礼申し上げます。

さて、今年の干支は酉年。「とり」は「とりこむ」と商売には縁起のよい干支になるそうです。労福協運動も確実な一步を踏み出す年にしたいと決意しております。そして、日本全体が景気の回復を実感でき、大きな社会問題である「格差」のない社会を実現させるために構成団体、働く人、生活者の連帯で地域に根ざした運動を展開し、2018年に迎える地区労福協創立30周年に繋げていきます。

本年もどうぞよろしくお願いします。



天童地区労働者福祉協議会  
会長 朝倉義幸

山形地区労働者福祉協議会  
会長 五十嵐光彦

新年あけましておめでとうございます。  
皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、天童地区労福協に対しまして、各方面的関連団体会員の皆様、及び、諸先輩方の皆様より特段の御尽力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

いま日本は、社会保障の課題や経済好循環の実現など様々な課題が山積し、社会の持続性が問われています。そして、地方で働く私たちにも生活不安、将来への不安が取り巻いている中、まさに働く者・生活者の安心と将来に希望を持てる社会を目指し、加盟団体と協力しながら活動を展開してまいりますので、皆様方のご支援・ご協力を、本年もどうぞよろしくお願い致します。

新年あけましておめでとうございます。  
安倍政権は、昨年も年末にかけて「年金カット法案」・「カジノ解禁法案」などの強行採決を行い、国民は「喉元過ぎれば熱さを忘れる」の如く、暴走が止まりません。

一年前の安保法が審議されていた時には、国民世論は安倍政権に「NO」を示していたにも関わらず、その声はどこか遠くへ行ってしまったように思います。

この危機的状況をしっかりと捉え、先頭に立って取り組んでいく役割が、私たち労福協にあると思います。いつあるやも知れない、衆議院選挙では昨年の参議院選挙山形選挙区同様一致団結して、この山形から安倍政権にNOを突きつけましょう!!

最後に、会員・加入団体の皆様より、労福協にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げて、新年のご挨拶といたします。



上山地区労働者福祉協議会  
会長 枝松直樹

東置賜地区労働者福祉協議会  
会長 小松武美

新年あけましておめでとうございます。  
今年こそは、今年こそはと毎年念じながら新しい年を迎えるのですが、その期待は裏切られっ放しです。特に昨年の世界的な混乱の状況を見ると、日本だけではなく、世界全体が劣化しているように思えてなりません。

原発再稼働、戦争法、TPPなど世論が反対と意思表示しても、国会では通ってしまう理不尽さ。政治に国民世論が反映されていないとは、これ如何に。  
国、地方問わず、市民の声に立脚した政治が行われなければならぬということは、民主主義の教科書に書いてあるはずです。

今、私たちの「考える力」が試されています。「本質を射抜く目」を磨きたいと思います。本年もよろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。  
昨年は、安保関連法の強行採決により、自衛隊に「駆けつけ警護」という新たな任務が加わり南スーダンへ派遣されました。祈ることは火器を使用することなく無事帰ってくることです。アベノミクスは何の成果もなく、その打開策に武器輸出を目論んでいます。それで景気が上向きになったとしても幸せと言えるでしょうか。福島の現状を無視しての原発輸出も然りです。貧困が社会問題化する中、もっと生活に密着した「介護」「保育」「医療」「食の安全」などの産業の充実と働く者の待遇改善と格差是正が必要です。

本年も労福協運動として、会員皆様の福祉向上に努めて参りますので、ご協力お願い致します。



西置賜地区労働者福祉協議会  
会長 青木 基



米沢地区労働者福祉協議会  
会長 安部 照 薫

新年明けましておめでとうございます。  
旧年中は当地区労福協に対しまして、特段のご指導を賜り心より感謝申し上げます。

さて、雇用環境や所得情勢の改善が報じられている昨今ですが、地方の労働者を取り巻く環境においては、その実感は非常に乏しく、我々労働者の生活は依然として厳しい環境にあります。これは、「アベノミクス」が経営側に偏った政策であり、一般国民には何ももたらさないからにはなりません。また政治においても安倍政権の「数の政治」により「民主主義」が危機に瀕しています。

労福協運動を通して、各労働団体や加入会員の皆様と連携し、労働者が安心して暮らすことができる社会を目指し取組んで参りますので、本年も変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。  
旧年中は、当地区労福協に対しまして、特段のご指導を賜り心より感謝申し上げます。

自民党他与党が進めている諸政策を完全に断ち切り、広がる格差にストップを掛け、地域で働く仲間が安心して暮らせる社会の実現に向けて全力で立ち向かう決意です。

本年も変わらぬご指導、ご協力をお願い致します。  
皆様にとって輝かしい年になりますよう心よりご祈念申し上げます。



山形県労福協顧問  
弁護士 設楽 作巳



山形県労福協顧問  
弁護士 植田 裕

新年あけましておめでとうございます。  
昨年は、国際政治の上で歴史的な出来事が起きました。中でもトランプ新大統領の誕生は、日本にも多大な影響を与えることは間違いないでしょう。

恐らく安倍政権は、外圧としてのトランプ新大統領の新体制を利用し、日本の防衛力強化を含め、「独立国家」にふさわしい「国体」を強化すべく運動を加速するのではないかでしょう。

その根底にある自民党憲法草案が亡靈ではなく、正に現実の憲法改正が目前にあると危惧しております。

今こそ私達に「不断の努力」による基本的人権の保持義務が求められているのではないかでしょうか。

皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

トになると予測しています。人口減少は国の将来にとって大問題です。

人口減少は婚姻適齢者に未婚者が多く、晩婚化などから出生率が1.4という低さに原因があります。子の養育費、教育費などに莫大な費用がかかるところから、子の出生を抑制するということも出生率を低下させている原因の一つでしょう。待機児童ゼロ、育児手当の増額などの公的政策には限界があり、出生率を高めるには不十分でしょう。

同一労働同一賃金が政治のスローガンだけでなく、安心して子を産み、養育できるに足りる所得が保証される社会の実現を切に望んでいます。

変えよう！奨学金

若者の未来を支える奨学金制度の改善と  
給付型奨学金制度を実現しよう！

給付型奨学金制度の創設をはじめとする奨学金制度の拡充や教育費負担の軽減に向け、中央労福協を中心に運動を展開しています。この間の署名運動（約304万筆集約）や世論の高まりを受け、無利子奨学金では低所得者世帯の成績基準が実質的に撤廃されるなど、運動の成果が着実に現れています。

この機をのがさず、より良い制度内容を実現するためには、さらなる世論の高まりが必要なため、山形県労福協と連合山形は、11～12月に計4回、山形市内にて街宣行動を実施しました。

また、「給付型奨学金制度の創設等を求めるアピール」への賛同（団体・個人）を全国的に運動展開しており、山形県内からも労福事業団体や労働組合、自治体首長・議員など、約100の団体・個人に賛同いただいております。（2016年12月12日現在）



みんなで声をあげよう！ 当事者が声をあげることが、より良い制度に変えていくためのパワーとなります！

奨学金の利用者（学生）、返済者、お子さんが奨学金を利用されている方など、奨学金について感じていること、困っていること、制度改善への要望などを募集しています。

詳しくは中央労福協ホームページへ ([https://www.rofuku.net/seido\\_shogaku/koe/](https://www.rofuku.net/seido_shogaku/koe/))

中央労福協

検索

# 山形県労働者福祉協議会 結成40周年

山形県労働者福祉協議会は1976年に「福祉はひとつ」の理念のもとに結成し、昨年40周年を迎えました。これを記念した「結成40周年記念の集い」を10月26日に大手門パルズにて開催し、多くの来賓の皆様、歴代三役の先輩方、加盟団体や地区労福協の皆様など約100名にご参加いただきました。

岡田理事長は「40年という長い歴史を支えていただいた加盟団体、友好団体、地区、そして歴代役員の先輩方に感謝と御礼を申し上げます」「これからの中を担う子供や若者を社会全体で支えるという持続可能な社会に向けて、労働者あるいは国民全体の生活の安全保障の政策を求めていくことが重要であり、40年を契機にして労福協として精一杯頑張っていきたい。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いしたい」と挨拶しました。

続いて来賓を代表して中央労福協の花井圭子事務局長、山形県商工労働観光部の清野一晴次長、山形市の斎藤順治副市長、北部労福協の内村隆志会長よりご挨拶を頂戴しました。その後、「山形県労福協40年の歩み」の紹介、

乾杯のご発声は山形県労福協初代会長の佐藤誼様よりい

ただきました。また、山形MIMの皆様よりむらやま徳内囃子を披露していただき花を添えていただきました。

また、記念の集いに先立ち「記念講演会」を開催し、講師に高木郁朗氏（日本女子大学名誉教授、県経済社会研究所顧問）をお招きして「労働者自主福祉運動が日本を救う－労福協運動の新しい役割－」と題してご講演いただきました。高木先生は「メンバーシップや共益は大切であるが、それだけでは不十分である。共益を基礎にしながら、メンバーシップを超えて、公益を発展させるような活動展開が求められている。それには地域の自治体やNPOなどを含めたネットワークを形成することが重要であり、その中でも重要なコーディネーター役を労福協が担っていく活動を強く期待する」などなど、労働者福祉運動の新しい役割がある意味“日本を救う”のご講演をいただきました。



中央労福協  
花井事務局長



北部労福協  
内村会長



初代会長  
佐藤誼氏



記念講演講師  
高木郁朗氏



むらやま徳内囃子  
山形MIMの演舞披露

## 県政の労働者福祉拡充を要請 ~山形県と県労福協の懇談会を開催~

11月24日、大手門パルズにて「山形県と県労福協の懇談会」を開催し、細谷副知事に「県政の労働者福祉拡充に関する要請書」を提出し、地方消費者行政の充実や、生活困窮者自立支援制度の充実など下記8項目を要請しました。

懇談会には細谷副知事をはじめ県側5名、県労福協側は加盟団体代表者ら11名が出席し、要請項目の中から「介護に関する施策の充実」と「子育て支援の充実」の2項目にテーマを絞り、活発な意見交換を行いました。

### 「県政の労働者福祉拡充に関する要請」

1. 地方消費者行政の充実・強化について
2. 山形版「地域包括ケアシステム」の構築について
3. 介護に関する施策の充実について
4. 生活困窮者自立支援制度の充実について
5. 子育て支援の充実について
6. 食品の安全・安心の確保について
7. 家庭用エネルギー料金の透明化と灯油支援について
8. 「補助金」「委託料」の増額と「支援・対策資金」の継続措置などについて



細谷副知事(左)に要請書を手交する岡田理事長(右)

子どもの貧困、教育格差、奨学金問題……

## 教育を考える市民フォーラム

中央労福協 山本幸司アドバイザーをパネラーに開催

連合山形及び山形県教職員組合協議会が主催、山形県労福協が共催する「第24回教育を考える市民フォーラム」を12月10日に山形市のヒルズサンピア山形にて開催し、一般参加者を含む60名にご参加いただきました。

今回は「子どもの貧困と教育格差」をテーマにパネルディスカッションを行い、パネラーには給付型奨学金制度創設をはじめとする奨学金制度の改善運動の中心で取り組む中央労福協より山本幸司アドバイザー（元参与）と、「近年における都道府県別貧困率の推移について」の発表など「貧困の現状」について研究されている山形大学の戸室健作准教授をお招きしました。

県高教組の佐藤委員長がコーディネーターを務め、貧困は自己責任なのか、教育格差はなぜ生じてしまうのか、奨学金制度改善の必要性などについて、参加者も交えた活発なディスカッションを行うことができました。



任なのか、教育格差はなぜ生じてしまうのか、奨学金制度改善の必要性などについて、参加者も交えた活発なディスカッションを行うことができました。

はたらく仲間の福祉会館

## 大手門パルズ 開館10周年記念祝賀会

11月30日「大手門パルズ開館10周年記念祝賀会」が開催され、労働団体や福祉事業団体などから約150名が出席しました。

主催三団体を代表して県勤労者福祉センターの岡田理事長は「大手門パルズは労働団体や労働福祉団体の活動拠点としての機能はもとより広く勤労者・市民に親しまれる会館を目指し努力してきた」「10周年を契機に役職員一丸となって経営基盤強化に向け頑張っていく」と挨拶されました。



## 生活なんでも相談 Q&A

No.21

Q.

交際相手とのトラブルについて

彼とは2年前から交際しています。婚約はしていません。

私は1年前に住宅を購入し、それを機に彼と同棲を始めました。住宅購入費は全て私が負担したので、土地も建物も全て私名義です。新調した家具家電は彼が購入しました。総額約100万円です。

同棲後は度々ケンカをするようになり、ついには彼の浮気も発覚しました。私は彼に「もう別れて、家を出て行ってほしい」と別れ話を切り出しました。すると彼は必ず「俺が買った物は全部持つて出て行く。それが嫌なら100万円返せ！」と言ってくるため、いまだに同棲は続いているです。

彼との交際＆同棲を解消した場合、彼の言うとおり家具家電の返還もしくは100万円の返還をしなければならないでしょうか？彼の浮気を理由に、彼に慰謝料を請求できないでしょうか？

A.

夫婦でもない、婚約もしていない。2 〈回答：設楽作巳弁護士〉  
人は同棲している。

このような関係をどのように理解するでしょうか。ただ彼が浮気をしたから同棲を辞めたいということからすると、お互いに性的欲求を充足させる便宜上同居しているものと考えるしかありません。したがって、相互に相手に対して貞操義務を負うことにはならないはずです。

また、夫婦でも民法は夫婦別産制をとっています。民法第762条が「夫婦の一方が婚姻前から有する財産及び婚姻中自己の名で得た財産はその特有財産（夫婦の一方が単独で有する財産）とする」というのがそれです。

土地と建物はあなたが負担したのだから、あなたの名義。家具や家電は彼が購入したのだから、彼の所有です。

つまり、同棲を解消すれば、彼が自分の物を持ち出すのも当然のことです。彼の浮気を理由にする慰謝料請求も、彼のあなたに対する貞操保持義務がないのですから請求する根拠がありません。



ZENROSAI NEWS  
0616B014

住まいの備えは全労済の  
住まいる共済で安心。

全労済の  
住まいる共済

株式会社・新日本労働共済  
SANKIN LABOR UNION CO., LTD.

保障のことなら



全労済山形県本部  
(山形県労働者共済生活協同組合)

〒990-0827 山形市城南町1-18-22  
TEL: 023-646-4666 (代)



ご利用中の奨学金の負担は大きくなっていますか?

くろきんは、奨学金の  
ご返済計画見直しのご相談を承ります!!

現在、学校進学の際利用した「奨学金」について、利用者の返済が  
困難になっていることが大きな社会問題となっている中で、くろきんでは低金利でご利用いただける「奨学金借換え融資制度」を  
ご準備いたしました。

日本で唯一の福祉金融機関くろきんは、これからも働く方々の  
一番身近な“生活応援バンク”として、豊かで安心して暮らすことの  
できる社会づくりをめざします!



奨学金借換え融資制度取扱い中

2017年1月1日現在

R 生活応援バンク くろきん 東北労働金庫山形県本部 0120-1919-62 (受付時間: 平日午前9時~午後5時)

新春の宴  
お好きをコースの  
組合せで満喫下さい

飲み放題プラン(120分)	
1,800円コース (左より4種)	瓶ビール・ウイスキー・白ワイン・赤ワイン・日本酒・サワー・ノンアルコールビール・烏龍茶・オレンジジュース
2,200円コース (左より6種)	
2,500円コース (左より8種)	

おかげさまで

10周年 ありがとうプラン

大手門パルズ

〒990-0044 山形市木の実町12-37  
tel.023-624-8600/fax.023-631-3143



新年会



3,200円コース

料理長厳選



4,200円コース